

# 2010年度鹿児島女子短期大学 卒業生アンケート調査結果報告

## 2010年度 鹿児島女子短期大学卒業生アンケート調査結果報告

### 1. 調査目的

本学教養学科では、平成21年度文部科学省学生支援推進プログラム補助事業の採択を受けて、学生の現代社会から求められる能力を身につけることを目的とした「めざそうく平成の篤姫」～鹿児島発社会人力養成プログラム～を実施している。そのプログラムの一環として、本学卒業生の卒業後の就業状況等を調査することによって、今後の本学の学生支援体制の改善に資することを目的とした。

### 2. 調査概要

○調査対象：鹿児島女子短期大学卒業生

○調査期間：2010年2月9日から2010年3月5日

○調査方法：

平成17年度発行同窓会「すみれ会」名簿記載住所、卒業時の保護者住所に対する調査票の郵送及び郵送回収

○送付数：5,395通（うち、499通が未達返却）

○調査回収率：有効回答394サンプル（回収率：8.05%）

○回答者属性（単位：名）：

学科別：児童教育学科（153）・生活科学科（84）・家政学科（46）・教養学科（110）

卒業年度別：S56年（84）・S61年（70）・H3年（36）・H8年（63）・H13年（31）・H14（4）・H15年（5）・H16年（5）・H17年（11）・H18年（36）・H19年（7）・H20年（34）・未記入（8）

(1) 現在の就業状況について

1. 短大卒業直後の就職先からの転職経験の有無と現在の勤務年数

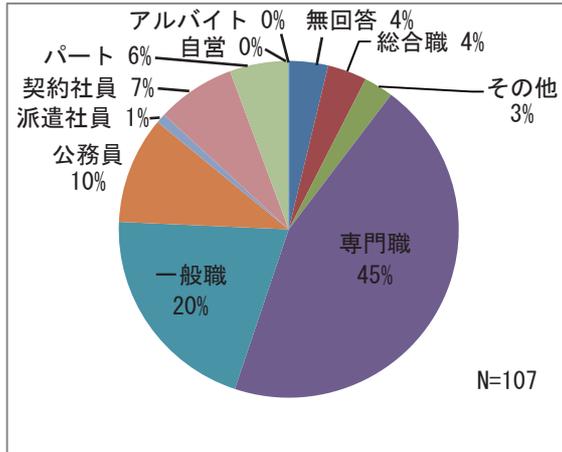


図1：短大卒業後の就職先に継続勤務している人の勤務形態（単数回答）

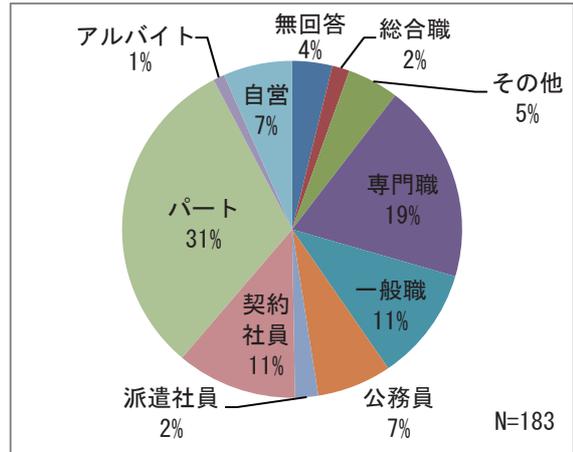


図2：短大卒業後の就職先から転職した人の勤務形態（単数回答）

このデータから、転職を期に専門職の割合が大幅に低下し、「パート」や「派遣社員」といった非正規雇用の割合が大幅に増えていることがわかる。

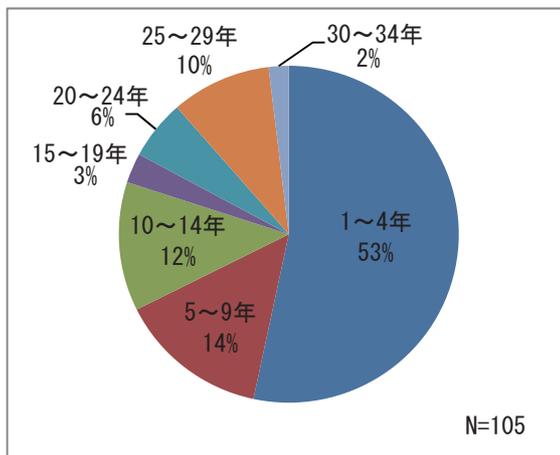


図3：短大卒業後の就職先に継続勤務している人の現在の勤務形態（単数回答）

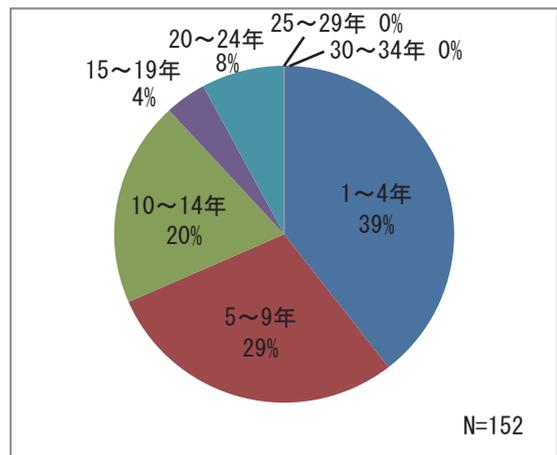


図4 短大卒業直後の就職先から転職した人の勤務年数（単数回答）

2. 現在の職種と働く理由

表1：現在の職種と働く理由のクロス表

職種	働く理由											合計	
	収入	家計維持	社会との接点	仕事は当然	仕事好き	知識を活かす	経済的自立	家業だから	友人を得たい	育児一段落	することがない		その他
小学校教員 度数 %	2 25.0%	5 62.5%	4 50.0%	2 25.0%	2 75.0%	6 75.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 12.5%	8
中学校教員 度数 %	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3
養護教員 度数 %	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	0 .0%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3
司書・司書補 度数 %	2 40.0%	2 40.0%	4 80.0%	2 40.0%	2 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	0 .0%	0 .0%	5
幼稚園教諭 度数 %	10 76.9%	1 7.7%	4 30.8%	6 46.2%	6 46.2%	6 46.2%	6 46.2%	2 15.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	13
保育士 度数 %	31 55.4%	28 50.0%	15 26.8%	10 17.9%	19 33.9%	22 39.3%	10 17.9%	10 17.9%	2 3.6%	11 19.6%	0 .0%	2 3.6%	56
栄養士 度数 %	22 68.8%	9 28.1%	10 31.3%	11 34.4%	11 25.0%	8 24.2%	11 34.4%	12 37.5%	1 3.1%	1 3.1%	0 .0%	0 .0%	32
介護福祉士 度数 %	8 61.5%	5 38.5%	4 30.8%	3 23.1%	3 15.4%	2 15.4%	3 23.1%	4 30.8%	1 7.7%	0 .0%	0 .0%	1 7.7%	13
ホームヘルパー 度数 %	2 50.0%	3 75.0%	3 75.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	4
公務員 度数 %	4 33.3%	7 58.3%	6 50.0%	2 16.7%	2 16.7%	2 16.7%	4 33.3%	4 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 8.3%	12
事務 度数 %	33 57.9%	33 57.9%	21 36.8%	18 31.6%	11 19.3%	3 5.3%	3 5.3%	12 21.1%	5 8.8%	6 10.5%	2 3.5%	2 3.5%	57
販売 度数 %	11 55.0%	10 50.0%	4 20.0%	5 25.0%	7 35.0%	3 15.0%	3 15.0%	3 15.0%	2 10.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	20
保安・サービ ス 度数 %	1 20.0%	4 80.0%	3 60.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 20.0%	1 20.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5
農林漁業 度数 %	1 33.3%	2 66.7%	0 .0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	2 66.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3
製造業 度数 %	0 .0%	7 100.0%	2 28.6%	0 .0%	0 28.6%	2 28.6%	0 .0%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	7
その他 度数 %	19 52.8%	15 41.7%	13 36.1%	7 19.4%	10 27.8%	10 27.8%	10 27.8%	6 16.7%	3 8.3%	4 11.1%	2 5.6%	3 8.3%	36
合計 度数	148	135	96	68	78	78	69	59	16	17	9	11	277

全体的に、「収入のため」、「家計維持のため」、「経済的自立のため」と、「経済的な理由が圧倒的に多いことが分かる。一方で、「社会との接点」が動機となっているのは、総数は少ないが、教員、ホームヘルパーが割合としては高くなっている。更には、「仕事が好きだから」という理由では、小学校教員や養護教員など、いわゆる難関突破する職種に見受けられる。

3. 現在の職種と会社選びのポイント

表2：現在の職種と会社選びのポイントのクロス表

会社選びのポイント	職種															
	小学校教員	中学校教員	養護教員	司書・司書補助	幼稚園教諭	保育士	栄養士	介護福祉士	ヘルパー	公務員	事務	販売	保安・サービス	農林漁業	製造業	その他
やりたい仕事	100.0%	66.7%	100.0%	40.0%	76.9%	76.8%	56.3%	38.5%	.0%	41.7%	47.4%	45.0%	80.0%	33.3%	57.1%	5%
短大の専門・専攻を活かせる	.0%	.0%	33.3%	60.0%	23.1%	30.4%	34.4%	15.4%	50.0%	8.3%	12.3%	15.0%	.0%	.0%	28.6%	11.1%
自分の能力を活かせる	50.0%	66.7%	100.0%	20.0%	46.2%	37.5%	34.4%	15.4%	50.0%	41.7%	28.1%	35.0%	40.0%	.0%	14.3%	50.0%
希望のコース(総合職など)	.0%	.0%	.0%	20.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%
やりがいがある	50.0%	33.3%	.0%	40.0%	53.8%	44.6%	31.3%	46.2%	25.0%	41.7%	40.4%	40.0%	20.0%	66.7%	28.6%	44.4%
国際的な仕事である	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%
男女差がない	12.5%	.0%	.0%	.0%	.0%	1.8%	.0%	.0%	.0%	16.7%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	2.8%
長く働ける	.0%	33.3%	33.3%	.0%	7.7%	5.4%	9.4%	23.1%	25.0%	33.3%	22.8%	20.0%	40.0%	33.3%	28.6%	16.7%
給与・昇給が良い	12.5%	.0%	.0%	.0%	15.4%	21.4%	9.4%	7.7%	.0%	25.0%	15.8%	15.0%	.0%	.0%	.0%	13.9%
休日回数・勤務時間などの労働条件が良い	12.5%	66.7%	.0%	20.0%	38.5%	28.6%	37.5%	30.8%	50.0%	58.3%	43.9%	25.0%	60.0%	.0%	57.1%	22.2%
安定した企業	50.0%	.0%	.0%	20.0%	15.4%	12.5%	15.6%	15.4%	25.0%	.0%	31.6%	20.0%	.0%	.0%	57.1%	8.3%
将来性のある企業・業種	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	3.6%	12.5%	.0%	.0%	.0%	3.5%	10.0%	.0%	.0%	.0%	11.1%
女性を活用する社風	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	2.8%
社会的貢献度が高い	12.5%	.0%	.0%	20.0%	.0%	1.8%	.0%	23.1%	25.0%	8.3%	3.5%	.0%	.0%	.0%	.0%	5.6%
仕事のための施設・設備が良い	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	1.8%	3.1%	7.7%	.0%	8.3%	.0%	.0%	.0%	33.3%	.0%	.0%
通勤の便が良い	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	10.7%	15.6%	7.7%	25.0%	.0%	15.8%	30.0%	.0%	.0%	.0%	5.6%
住宅手当・寮などの条件が良い	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	5.0%	.0%	.0%	.0%	.0%
福利厚生が充実している	.0%	.0%	33.3%	40.0%	15.4%	16.1%	12.5%	23.1%	25.0%	.0%	19.3%	30.0%	20.0%	33.3%	14.3%	25.0%
母性保護の制度が充実している	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	7.7%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	5.6%
OGの印象が良い	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	3.1%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	14.3%	.0%
その他	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	3.1%	7.7%	.0%	.0%	1.8%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%

職種、会社選定理由としては圧倒的に「やりたい仕事」をポイントとしている場合が多い。また、「自分の能力を活かせる仕事」も複数の職種で多く見られる。自分の興味や特性を生かせる職種を望むという点では、仕事をすることで自己達成感が得られることを重視していることが伺える。一方で、「労働条件が良い」という、ところでは、仕事以外の時間を充実させたいという希望、もしくは、家事や育児状況などの環境が関連していることが考えられる。

4. 短大卒業直後の就職先からの転職経験の有無と会社選びのポイント

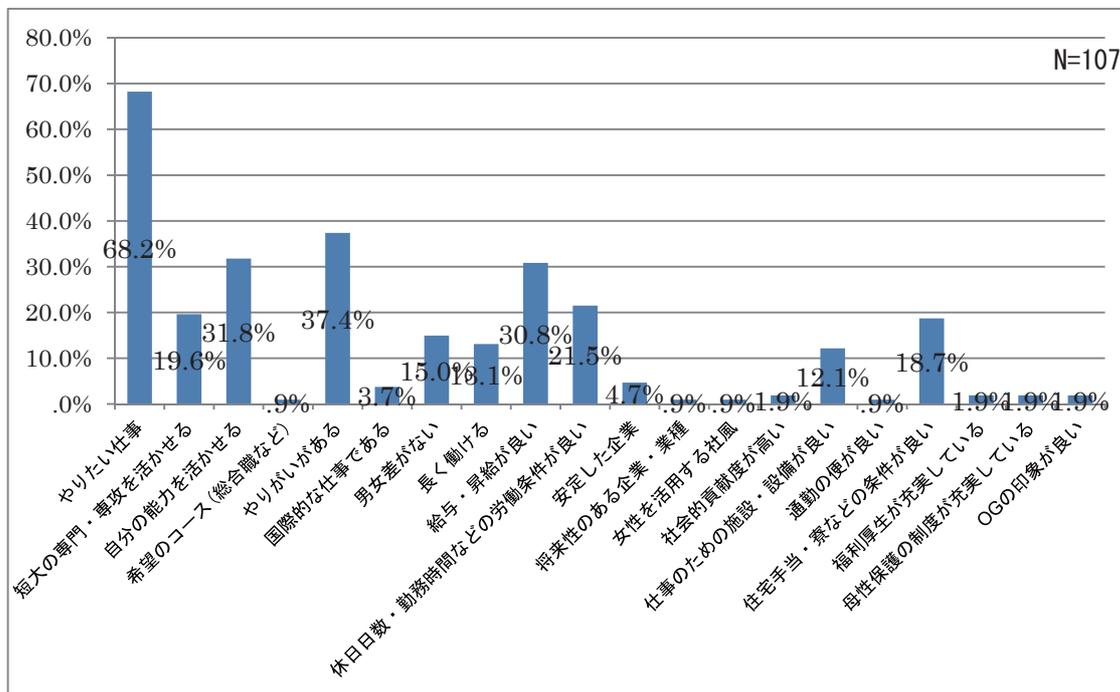


図5：短大卒業後の就職先に継続勤務している人の会社選びのポイント（3選択までの複数回答）

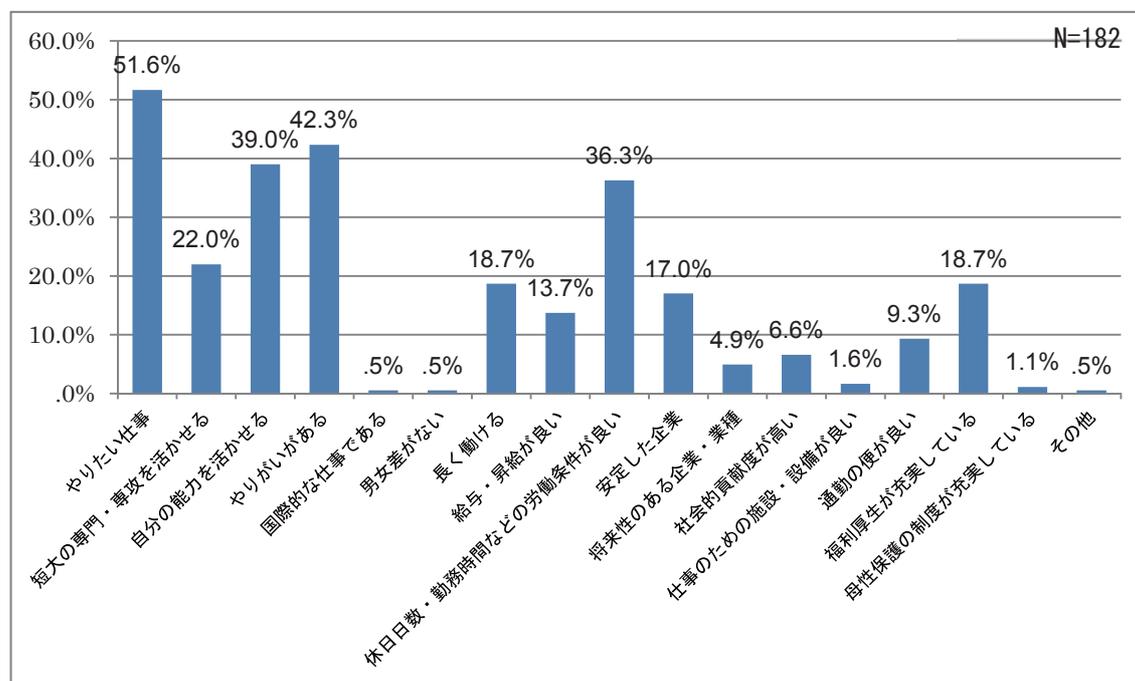


図6：短大卒業直後の就職先から転職した人の会社選びのポイント（3選択までの複数回答）

図5と図6は、卒業後継続勤務した群と、転職した群とで、それぞれ会社選びのポイントを比較したものである。この2つの群に、全体的な会社選定傾向の差は見られないが、転職をした群は「休日回数・勤務時間」等の労働条件を比較的重視していることが分かる。

## (2) 就職活動支援の体制について

### 1. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大の就職支援に対する満足度

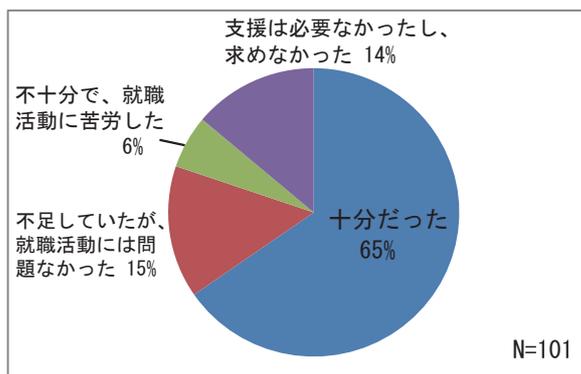


図7：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の短大就職支援満足度（単数回答）

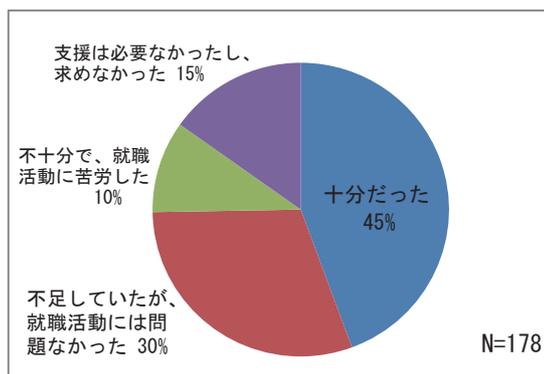


図8：短大卒業直後の就職先から転職した人の短大就職支援満足度（単数回答）

全体的に、短大の就職支援の満足度としては、概ね肯定的である。なお、卒業後の転職の有無と短大の就職支援に対する満足度のクロス分析及びカイ二乗検定を行った結果、転職経験者と継続勤務者の短大の就職支援満足度（肯定的な評価）の間に統計的な有意差が認められた ( $p>0.05$ )。

### 2. 就職活動の悩みなどを友達、担任、学生支援課（旧就職課）等に相談しましたか。

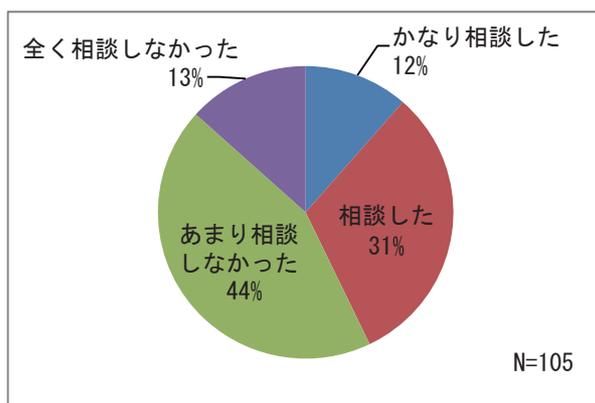


図9：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の就職相談の程度（単数回答）

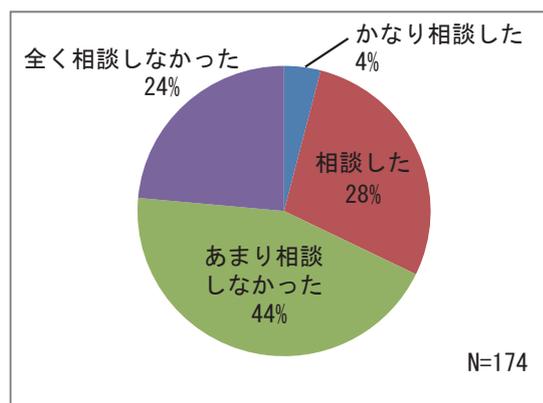


図10：短大卒業直後の就職先から転職した人の就職相談の程度（単数回答）

具体的な相談状況としては、「あまり相談しなかった」が半数近く、また、「全く相談しなかった」も7、8人に1人の割合でみられ、就職相談の活用は十分になされていたとは言えない。

3. 一番相談した相手は誰ですか。

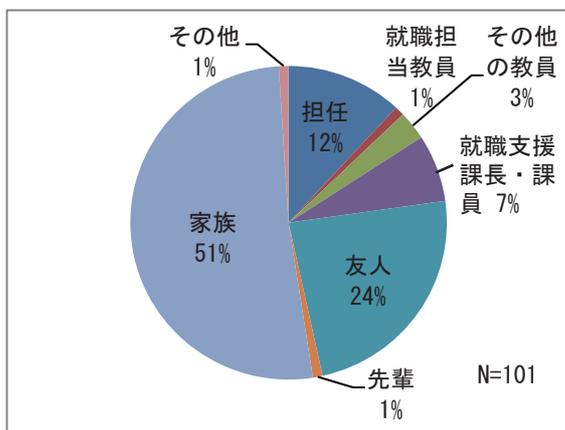


図 11：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の就職相談の相手（単数回答）

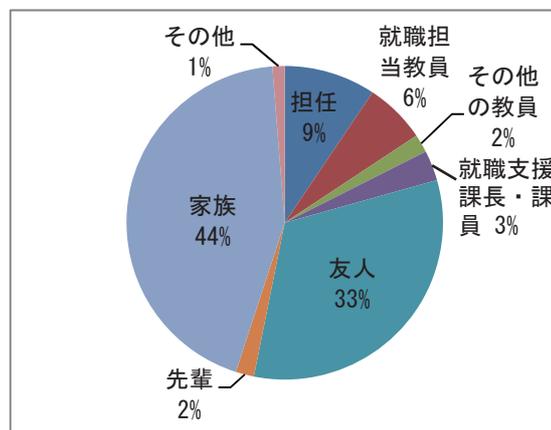


図 12：短大卒業直後の就職先から転職した人の就職相談の相手（単数回答）

就職活動において、日常場面で誰に相談するかは、非常に重要なことである。家族が最も多いことを踏まえると、就職支援活動の範囲として、相談相手である家族への情報提供や、短大との連携（保護者会の充実等）を含めていく必要がある。ただし、本データからは、「就職相談」の中身を読み取ることは出来ない。一般的に、就職先や業種の決定については家族の比重が大きく、実際の就職活動を進めていく上での技術的な悩みについては友人や短大の役割が大きいものと推察される。より、学生のニーズに対応した就職支援体制が必要であろう。

4. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大の就職支援における重要ポイント

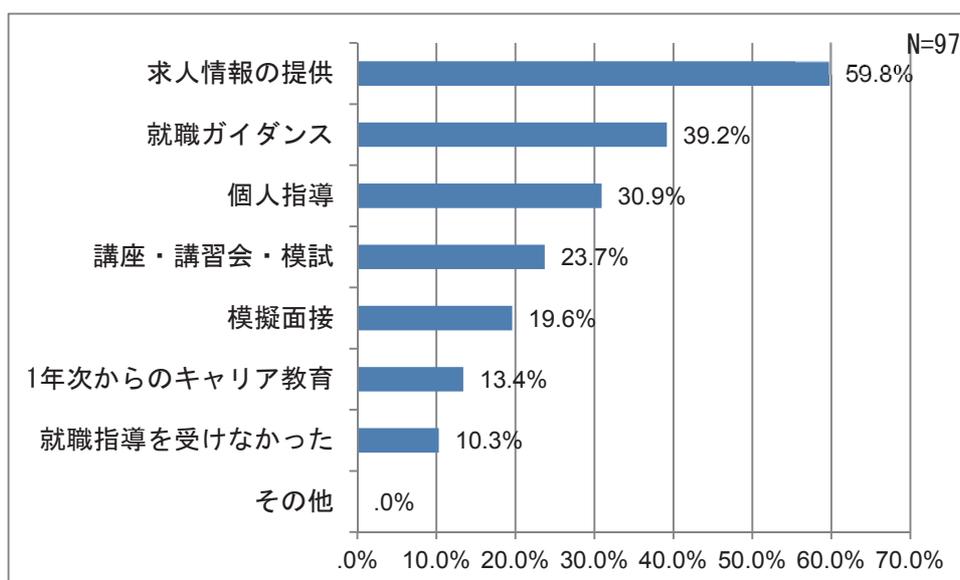


図 13：継続勤務している人の短大の就職支援におけるポイント（3 選択までの複数回答）

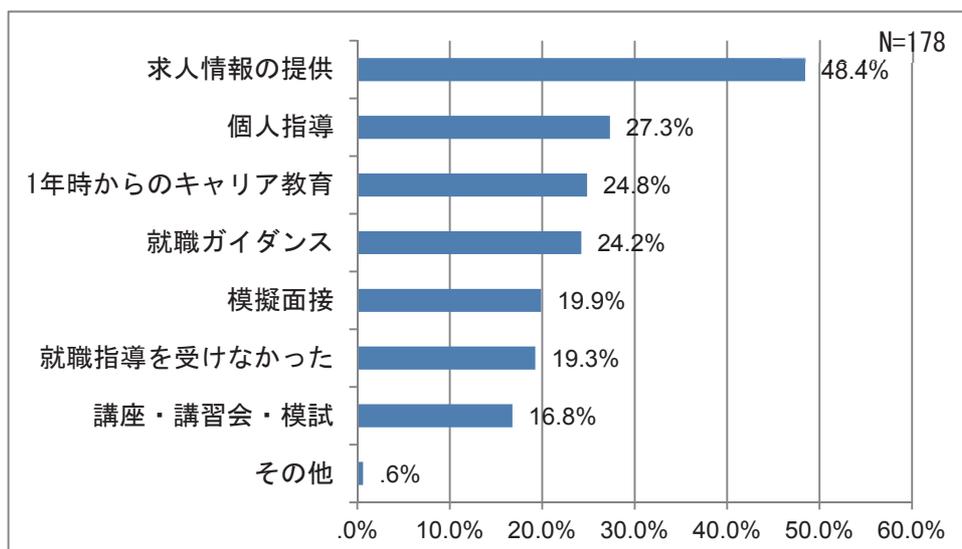


図 14：転職した人の短大の就職支援における重要ポイント（3 選択までの複数回答）

求人情報の提供は、就職支援課の時代から主な支援活動であり、それが最も重要だと見なされていたことは、短大側の供給と、職を求める卒業生との需要とがうまく合致していたからであろう。就職ガイダンスや講座、講習会が卒業生側からも重要視されていた事実は、今後のキャリア教育を実施していく上での大きな示唆である。現在の本学の就職支援及び教育内容は、一年次からのキャリア教育という観点から改善を行っている。その点では、転職グループの回答に特に多くみられた一年次からのキャリア教育に関する卒業生からの実感からも、その重要性が支持されるものであることが窺える。

### (3) 短大卒業者の就職後の状況

#### 1. 短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の就職経緯と転職者の再就職の経緯

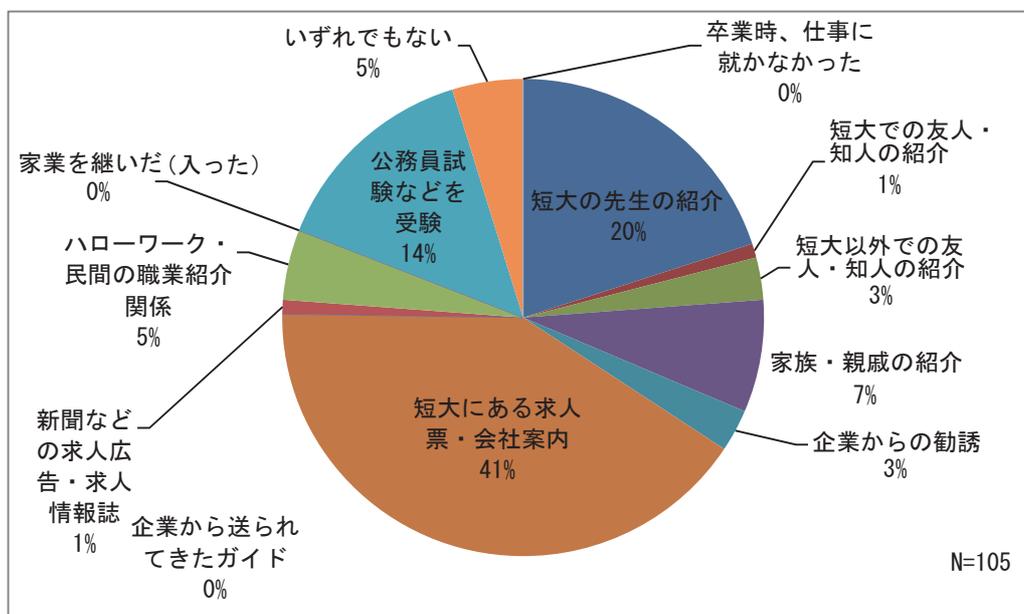


図 15：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の就職経緯（単数回答）

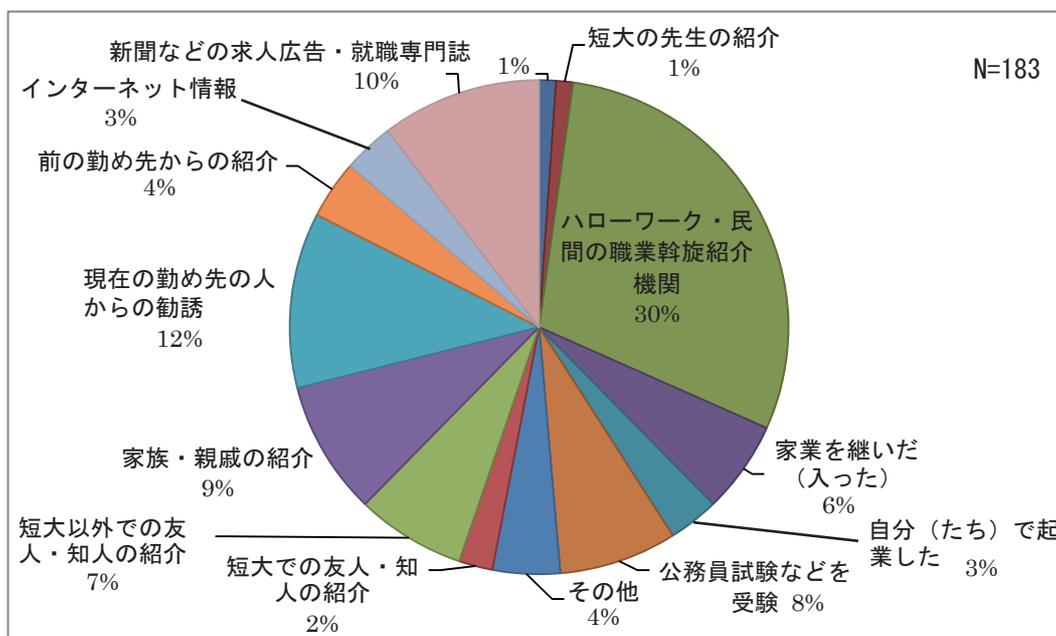


図 16: 卒業直後の就職先からの転職した人の再就職経緯 (単数回答)

回答者の数では、卒業後、転職している者の方が多い。その際、短大として卒業生の就業支援をどの程度行うかは、今後の検討課題でもあるだろう。以下に、転職組の属性や経緯をデータとして示す。

## 2. 短大卒業直後の就職先から転職した人の最初の勤務年数と職種

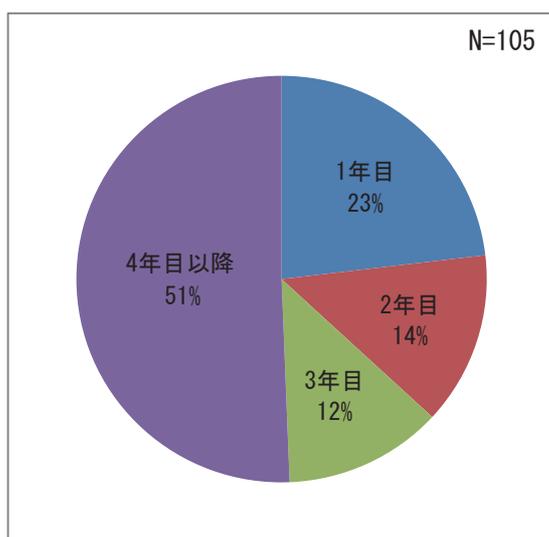


図 17: 短大卒業直後の就職先から転職した人の最初の勤務年数 (単数回答)

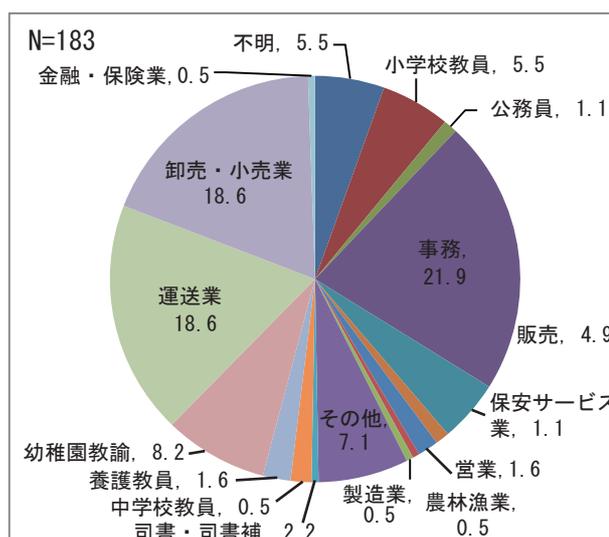


図 18: 短大卒業直後の就職先から転職した人の卒業直後の職種 (単数回答)

3. 短大卒業直後の職種と仕事を辞めるまでの勤続年数

表3：短大卒業直後の職種と仕事を辞めた時期

		仕事を辞めた時期				合計
		1年目	2年目	3年目	4年目以降	
職種	小学校教員	度数 0	0	1	6	7
	%	.0%	.0%	14.3%	<b>85.7%</b>	100.0%
	中学校教員	度数 0	0	0	1	1
	%	.0%	.0%	.0%	<b>100.0%</b>	100.0%
	養護教員	度数 0	1	1	3	5
	%	.0%	20.0%	20.0%	<b>60.0%</b>	100.0%
	司書・司書補	度数 0	0	1	4	5
	%	.0%	.0%	20.0%	<b>80.0%</b>	100.0%
	幼稚園教諭	度数 3	4	3	18	28
	%	10.7%	14.3%	10.7%	<b>64.3%</b>	100.0%
	保育士	度数 4	3	9	30	46
	%	8.7%	6.5%	19.6%	<b>65.2%</b>	100.0%
	栄養士	度数 12	8	3	18	41
	%	29.3%	19.5%	7.3%	<b>43.9%</b>	100.0%
	介護福祉士	度数 1	1	1	2	5
	%	20.0%	20.0%	20.0%	<b>40.0%</b>	100.0%
	公務員	度数 0	0	0	2	2
	%	.0%	.0%	.0%	<b>100.0%</b>	100.0%
	事務	度数 11	3	11	40	65
	%	16.9%	4.6%	16.9%	<b>61.5%</b>	100.0%
	販売	度数 2	5	1	5	13
	%	15.4%	<b>38.5%</b>	7.7%	<b>38.5%</b>	100.0%
	保安・サービス	度数 1	2	0	1	4
	%	25.0%	<b>50.0%</b>	.0%	25.0%	100.0%
	営業	度数 2	0	0	1	3
	%	<b>66.7%</b>	.0%	.0%	33.3%	100.0%
農林漁業	度数 0	1	0	0	1	
%	.0%	<b>100.0%</b>	.0%	.0%	100.0%	
製造業	度数 1	0	0	0	1	
%	<b>100.0%</b>	.0%	.0%	.0%	100.0%	
その他	度数 8	3	2	12	25	
%	32.0%	12.0%	8.0%	<b>48.0%</b>	100.0%	
合計	度数 45	31	33	143	252	
%	17.9%	12.3%	13.1%	56.7%	100.0%	

営業、農林漁業では1～2年目に離職した割合が高いものの、数としては極めて限定的である。全体の傾向として、4年目以降での離職割合が高く、短大卒業後の就職先に比較的長期間勤務している。

4. 短大卒業直後の職種と退職理由

表 4：卒業直後の職種と退職理由

職種	退職理由													合計						
	仕事内容が予想と違った	会社の業務内容が予想と違った	適正に説明を受けた	労働時間での不満	収入面での不満	職場の人間関係	結婚のため	出産・育児のため	家族のため	家族の反対	キャリアの限界	期限付きの採用	人員整理・削減		転勤のない職場で働きたい	会社の成長力・将来性	実力主義・能力主義の会社で働きたい	専門性やスキルを高めたい	ステップアップのため	その他
小学校教員	0	0	0	0	0	1	3	1	2	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	6
度数 %	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	16.7%	50.0%	16.7%	33.3%	.0%	.0%	16.7%	.0%	16.7%	.0%	.0%	16.7%	.0%	16.7%	0
中学校教員	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
度数 %	.0%	.0%	100.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	0
養護教員	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
度数 %	.0%	.0%	20.0%	.0%	.0%	20.0%	60.0%	20.0%	.0%	.0%	20.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	20.0%	1
司書・司書補	0	0	0	0	1	0	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
度数 %	.0%	.0%	.0%	20.0%	20.0%	.0%	80.0%	20.0%	20.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	20.0%	1
幼稚園教諭	1	1	4	7	2	5	14	4	2	0	1	1	0	0	0	1	2	3	2	29
度数 %	3.4%	3.4%	13.8%	24.1%	6.9%	17.2%	48.3%	13.8%	6.9%	.0%	3.4%	3.4%	.0%	.0%	.0%	3.4%	6.9%	10.3%	6.9%	2
保育士	3	1	9	2	1	6	22	7	4	0	1	0	0	0	2	1	1	1	7	47
度数 %	6.4%	2.1%	19.1%	4.3%	2.1%	12.8%	46.8%	14.9%	8.6%	.0%	2.1%	.0%	.0%	.0%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	14.9%	7
栄養士	9	2	7	8	7	11	2	7	3	0	2	2	0	0	1	0	4	5	4	39
度数 %	23.1%	5.1%	17.9%	20.5%	17.9%	28.2%	5.1%	17.9%	7.7%	.0%	5.1%	5.1%	.0%	.0%	2.6%	.0%	10.3%	12.8%	10.3%	4
介護福祉士	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
度数 %	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	50.0%	50.0%	25.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	0
公務員	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
度数 %	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	50.0%	50.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	0
事務	6	2	9	4	2	11	27	12	4	0	3	1	1	1	3	1	3	5	7	68
度数 %	8.8%	2.9%	13.2%	5.9%	2.9%	16.2%	39.7%	17.6%	5.9%	.0%	4.4%	1.5%	1.5%	.0%	4.4%	1.5%	7.4%	7.4%	10.3%	7
販売	2	2	0	2	0	3	4	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	12
度数 %	16.7%	16.7%	.0%	16.7%	.0%	25.0%	33.3%	8.3%	8.3%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	8.3%	.0%	.0%	8.3%	16.7%	2
保安・サービス	1	0	0	2	1	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
度数 %	20.0%	.0%	.0%	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	.0%	.0%	.0%	20.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	20.0%	1
営業	2	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
度数 %	66.7%	.0%	66.7%	33.3%	.0%	66.7%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	33.3%	.0%	.0%	0
農林漁業	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
度数 %	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%	100.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	0
製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
度数 %	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	0
その他	3	2	0	5	3	1	9	3	0	0	3	0	0	0	3	0	2	4	5	26
度数 %	11.5%	7.7%	.0%	19.2%	11.5%	3.8%	34.6%	11.5%	.0%	.0%	11.5%	.0%	.0%	.0%	11.5%	.0%	7.7%	15.4%	19.2%	5
合計	27	10	33	33	18	45	93	40	18	1	11	4	7	1	10	3	14	19	32	254

表3を見ると、短大卒業後の就職4年以降に退職している割合が多い。「結婚のため」が最も多いことから、ちょうど結婚が転職となり、退職することが多いものと考えられる。ただし、「適正に疑問を持った」・「労働時間での不満」・「職場の人間関係」等、「不満」を理由とした退職理由の割合が全体的に多いことが懸念される。特に、職場での人間関係は一般的などのような職域や職場においても一定存在する問題であり、キャリア教育での対応が求められる。

(4) 職場選びで重視したこと

1. 短大卒業直後の就職先からの転職経験の有無と志望就職先で最も重視したこと

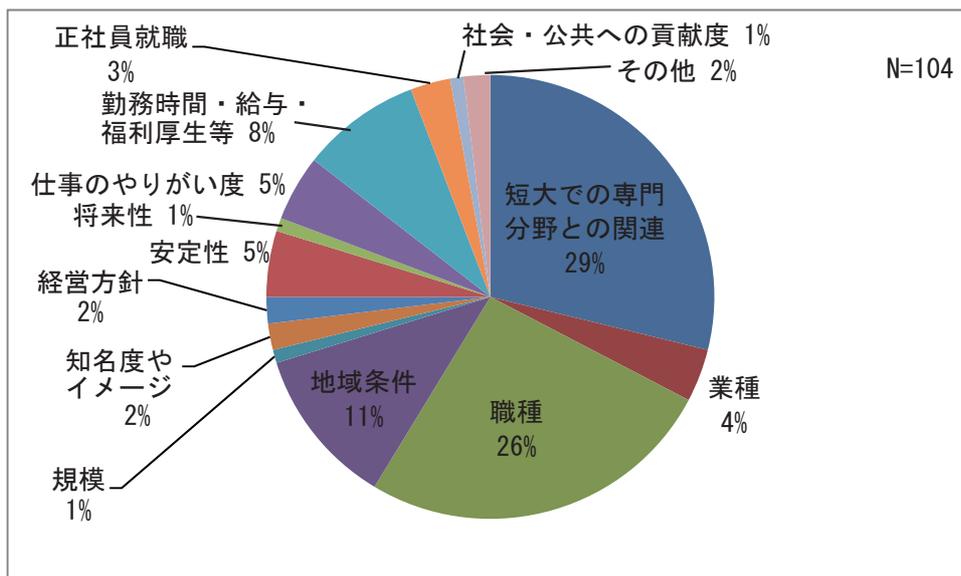


図 19：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の重視したこと（単数回答）

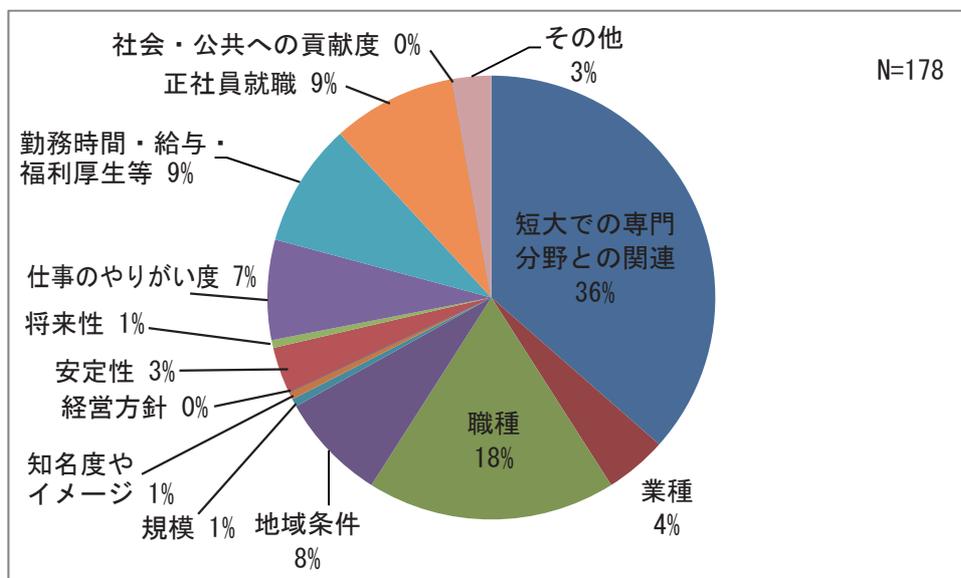


図 20：短大卒業直後の就職先から転職した人の重視したこと（単数回答）

上記2つのグラフを見ても、就職先の重視項目のバランスはほぼ同じである。なお、短大卒業直後の就職先での勤務状況を独立変数、志望就職先の重視項目を従属変数としたクロス分析及びカイ二乗検定を行った結果、両者に統計的に有意な差は確認できなかった。転職経験の有無に関係なく、就職先選定における短大生の重視ポイントは短大での専門分野との関連性と職種であり、今後のキャリア支援体制に反映することが求められる。

2. 働く理由と就職先決定において最も重視したこと

表 5：働く理由と志望就職先を決定するにあたって最も重視した理由

	志望就職先を決定するにあたって最も重視したこと											合計		
	短大での専門分野との関連	業種	職種	地域条件	規模	知名度やイメージ	経営方針	安定性	将来性	仕事のやりがい	勤務時間・給与・福利厚生等		正社員就職	社会・公米への貢献度
自分自身の収入が欲しい	57 30.0%	6 3.2%	38 20.0%	17 8.9%	2 1.1%	3 1.6%	2 1.1%	10 5.3%	1 .5%	15 7.9%	24 12.6%	14 7.4%	0 .0%	1 .5%
家計の維持や補助に必要	76 38.2%	10 5.0%	38 19.1%	21 10.6%	2 1.0%	1 .5%	0 .0%	8 4.0%	2 1.0%	13 6.5%	13 6.5%	11 5.5%	1 .5%	3 1.5%
社会とのつながりを持ちたい	50 37.0%	4 3.0%	30 22.2%	10 7.4%	2 1.5%	2 1.5%	1 .7%	7 5.2%	0 .0%	9 6.7%	13 9.6%	4 3.0%	1 .7%	2 1.5%
仕事に就くのは当然	19 25.7%	4 5.4%	14 18.9%	7 9.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 2.7%	1 1.4%	6 8.1%	10 13.5%	5 13.5%	0 .0%	1 1.4%
仕事が好き	31 34.4%	6 6.7%	18 20.0%	8 8.9%	0 .0%	2 2.2%	1 1.1%	5 5.6%	0 .0%	9 10.0%	3 3.3%	5 5.6%	0 .0%	2 2.2%
知識・技術・興味を活かしたい	37 34.9%	3 2.8%	31 29.2%	8 7.5%	1 .9%	3 2.8%	1 .9%	4 3.8%	0 .0%	8 7.5%	6 5.7%	4 3.8%	0 .0%	0 .0%
経済的に自立したい	19 27.1%	1 1.4%	19 27.1%	8 11.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 5.7%	1 1.4%	3 4.3%	7 10.0%	5 7.1%	1 1.4%	2 2.9%
家業	4 22.2%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	2 5.6%	5 27.8%	0 .0%	0 .0%
仕事を運じて友人を得たい	10 45.5%	1 4.5%	3 13.6%	2 9.1%	0 .0%	1 4.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 13.6%	2 9.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
育后が一段落	24 49.0%	1 2.0%	7 14.3%	4 8.2%	1 2.0%	0 .0%	0 .0%	2 4.1%	0 .0%	2 4.1%	6 12.2%	1 2.0%	0 .0%	1 2.0%
他にすることがない	4 36.4%	0 .0%	1 9.1%	1 9.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 9.1%	4 36.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
その他	2 16.7%	1 8.3%	2 16.7%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	2 16.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 25.0%
合計	126	15	75	36	4	4	2	18	2	27	34	23	1	7

この結果から分かるように、働く理由のいずれにおいても、最も重視したことからして「短大での専門分野との関連」と回答した割合が最も高い。一般的に、高等教育の大衆化と質の低下が問題とされている中で、短大生が就職先の選定において自らの専門分野との関連性を重視しているという事実は、短大が提供している専門教育の質の高さと見ることもできるだろう。

3. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大での学んだ専門分野と仕事との関連性

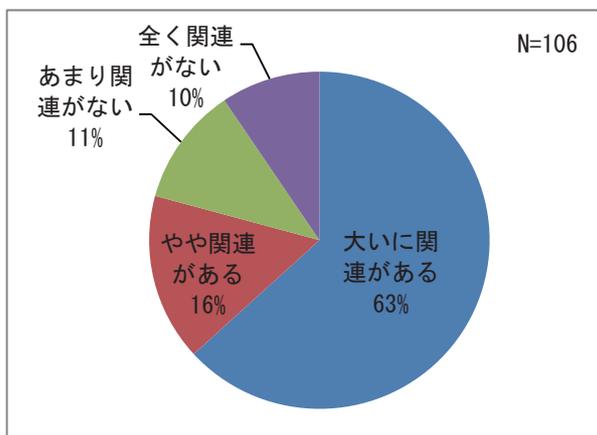


図 21：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の短大での学習と仕事との関連（単数回答）

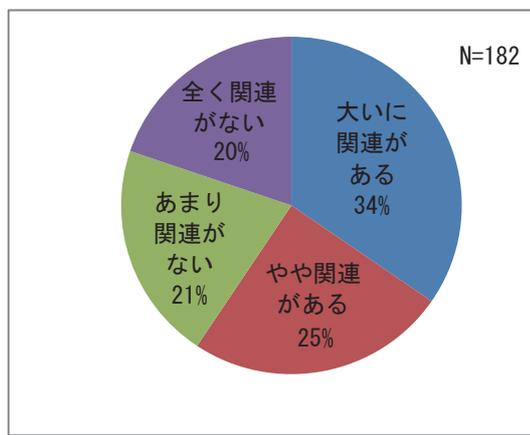


図 22：短大卒業直後の就職先から転職した人の短大での学習と仕事との関連（単数回答）

この結果から、転職後の職場においては、短大での専門分野との関連性が相対的に弱まっている傾向があるものの、半数以上の割合で短大での専門分野との関連性と一定の関連があると回答している。

4. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大での学んだことの有用性

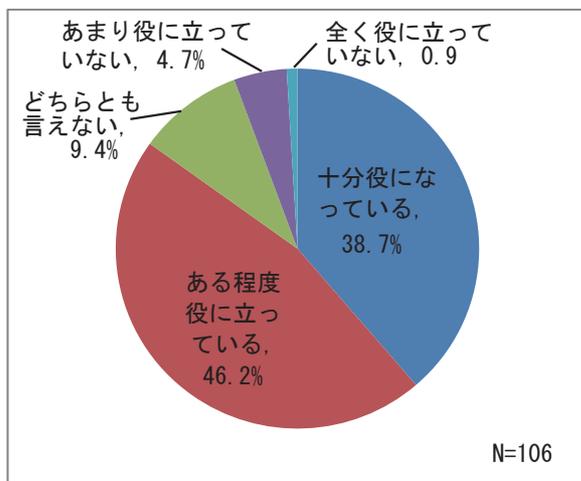


図 23：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の短大で学んだことの有用性（単数回答）

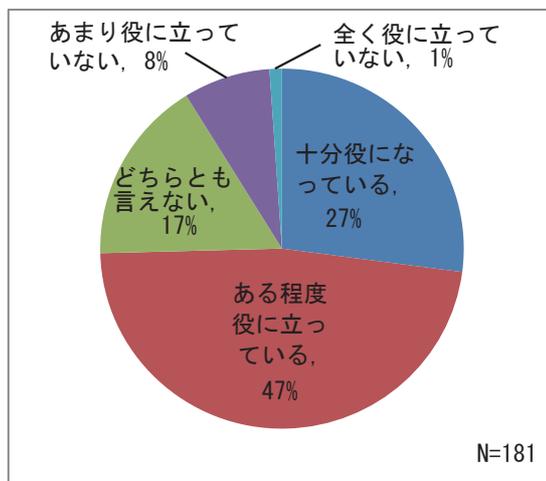


図 24：短大卒業直後の就職先から転職した人の短大で学んだことの有用性（単数回答）

前頁の分析結果と同様、転職と同時に現在の職業における短大での学習の有用性の重要度が低下しているものの、両者共に全体的には短大で学習した事柄が役に立っていると考えていることが分かる。

5. 働く理由と就職先決定において最も重視したこと

表 5：働く理由と志望就職先を決定するにあたって最も重視した理由

	志望就職先を決定するにあたって最も重視したこと											合計		
	短大での専門分野との関連	業種	職種	地域条件	規模	知名度やイメージ	経営方針	安定性	将来性	仕事のやりがい度	勤務時間・給与・福利厚生等		正社員就職	社会・公への貢献度
自分自身の収入が欲しい	57 30.0%	6 3.2%	38 20.0%	17 8.9%	2 1.1%	3 1.6%	2 1.1%	10 5.3%	1 .5%	15 7.9%	24 12.6%	14 7.4%	0 .0%	1 .5%
家計の維持や補助に必要	76 38.2%	10 5.0%	38 19.1%	21 10.6%	2 1.0%	1 .5%	0 .0%	8 4.0%	2 1.0%	13 6.5%	13 6.5%	11 5.5%	1 .5%	3 1.5%
社会とのつながりを持ちたい	50 37.0%	4 3.0%	30 22.2%	10 7.4%	2 1.5%	2 1.5%	1 .7%	7 5.2%	0 .0%	9 6.7%	13 9.6%	4 3.0%	1 .7%	2 1.5%
仕事に励むのが当然	19 25.7%	4 5.4%	14 18.9%	7 9.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 2.7%	1 1.4%	6 8.1%	10 13.5%	5 13.5%	0 .0%	1 1.4%
仕事が好き	31 34.4%	6 6.7%	18 20.0%	8 8.9%	0 .0%	2 2.2%	1 1.1%	5 5.6%	0 .0%	9 10.0%	3 3.3%	5 5.6%	0 .0%	2 2.2%
知識・技術・趣味を活かしたい	37 34.9%	3 2.8%	31 29.2%	8 7.5%	1 .9%	3 2.8%	1 .9%	4 3.8%	0 .0%	8 7.5%	6 5.7%	4 3.8%	0 .0%	0 .0%
経済的に自立したい	19 27.1%	1 1.4%	19 27.1%	8 11.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 5.7%	1 1.4%	3 4.3%	7 10.0%	5 7.1%	1 1.4%	2 2.9%
家業	4 22.2%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 11.1%	1 5.6%	5 27.8%	0 .0%	0 .0%
仕事を運じて友人を得たい	10 45.5%	1 4.5%	3 13.6%	2 9.1%	0 .0%	1 4.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 13.6%	2 9.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
育后が一段落	24 49.0%	1 2.0%	7 14.3%	4 8.2%	1 2.0%	0 .0%	0 .0%	2 4.1%	0 .0%	2 4.1%	6 12.2%	1 2.0%	0 .0%	1 2.0%
他にすることがない	4 36.4%	0 .0%	1 9.1%	1 9.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 9.1%	4 36.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
その他	2 16.7%	1 8.3%	2 16.7%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	1 8.3%	0 .0%	0 .0%	2 16.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 25.0%
合計	126	15	75	36	4	4	2	18	2	27	34	23	1	7

この結果から分かるように、働く理由のいずれにおいても、最も重視したことからして「短大での専門分野との関連」と回答した割合が最も高い。一般的に、高等教育の大衆化と質の低下が問題とされている中で、短大生が就職先の選定において自らの専門分野との関連性を重視しているという事実は、短大が提供している専門教育の質の高さと見ることもできるだろう。

(5) 就職後に感じる短大での経験

1. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と就活後に自分に不足していたと思う事柄

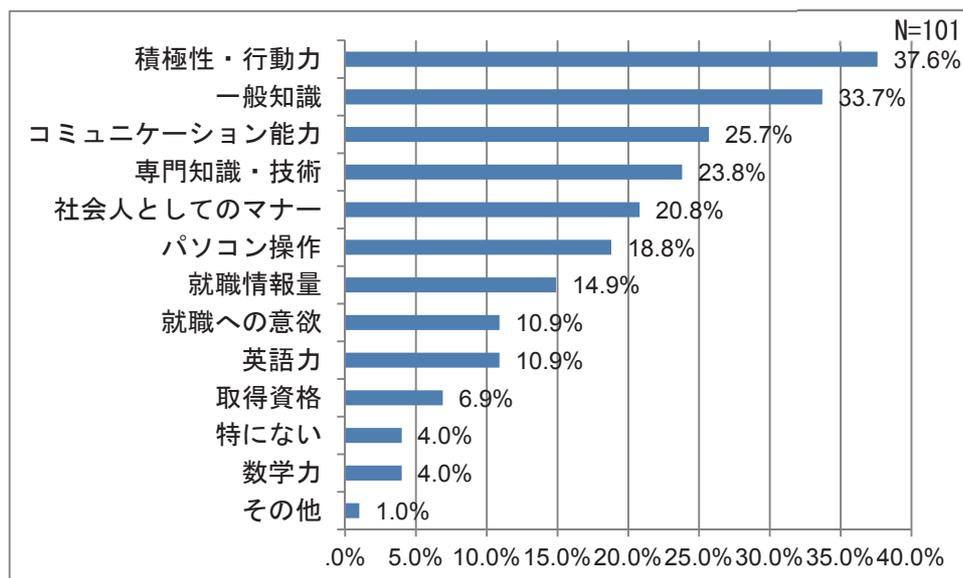


図 25：継続勤務している人の就活後に不足していたと思う点（3 選択までの複数回答）

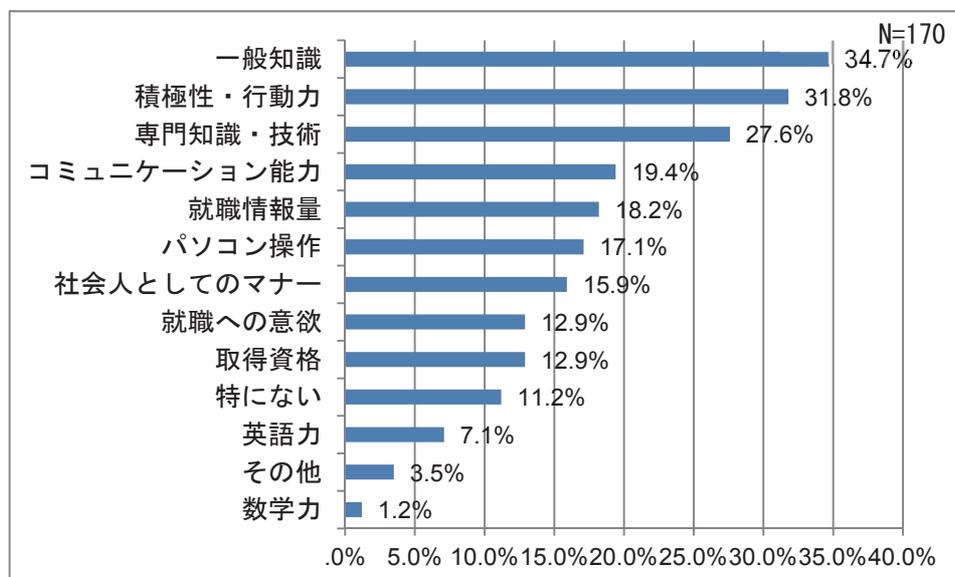


図 26：転職した人の就活後に不足していたと思う点（3 選択までの複数回答）

この結果から、短大卒業後の就職先に継続勤務している人、転職した人の両者ともに「積極性・行動力」・「一般知識」の不足を課題として挙げていることが分かる。特に、一般知識の不足については、その具体的な内容を把握することでキャリア教育へ反映させることはある程度可能である。

2. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大においてもっと身につけておくべきだと思うもの

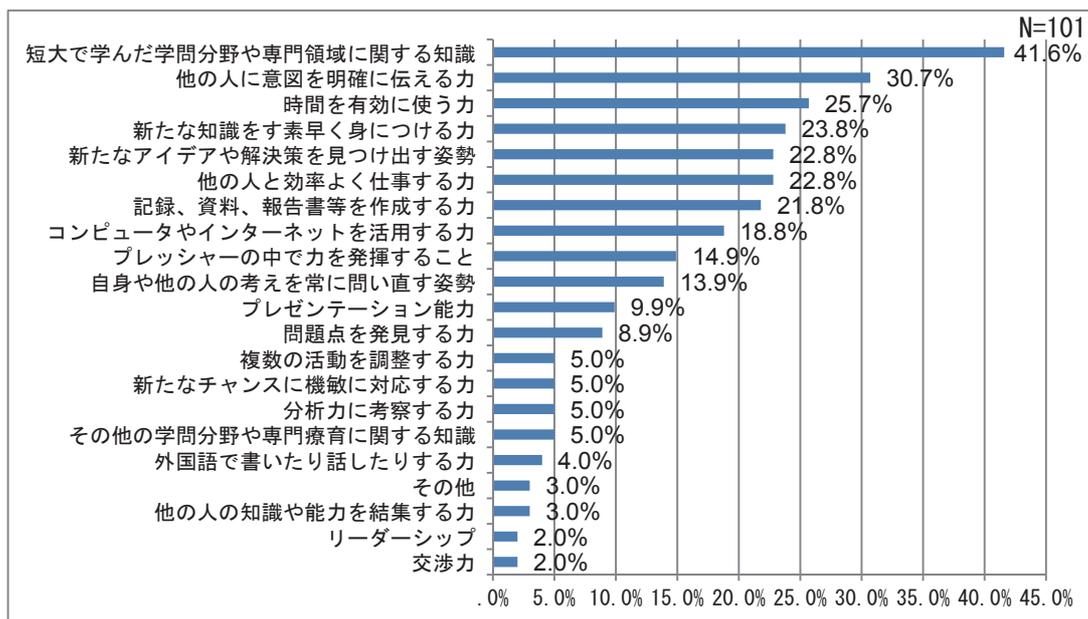


図 27：短大で身につけておくべきだったこと（継続勤務）（上位3選択の複数回答複数回答）

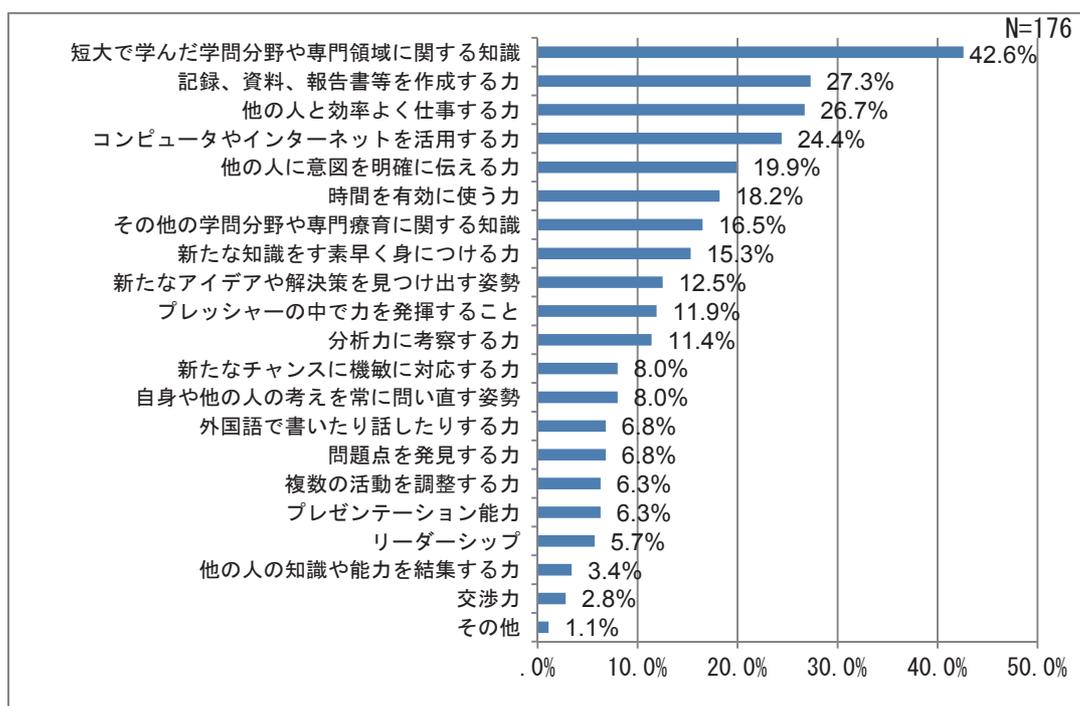


図 28：短大で身につけておくべきだったこと（転職者）（上位3選択の複数回答複数回答）

継続勤務の卒業生においても、転職した卒業生においても、短大で身に付けておくべきこととして「短大で学んだ学問分野や専門領域に関する知識」を40%以上が回答している。ある程度は、短期大学在学時代に学習しているはずではあるが、やはり職場で即戦力となるほどには身に付いていないことを、現実として就職した際に感じるのであろう。続いて、継続勤務している卒業生からすると、「他の人に意図を明確に伝える力」、「時間を有効に使う力」が挙げられている。いわゆる前出のコミュニケーション能力と、タイムマネジメント能力である。転職した卒業生からすると、次いで挙げられるのが、「記録、資料、報告書等を作成する力」、「他の人と効率よく仕事をする力」が挙げられている。これらは、どのような職種においても必要となる一般的な実務能力であり、実学的な学習とともに実践によって身につく面が大きいものと言える。

### 3. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大への満足度

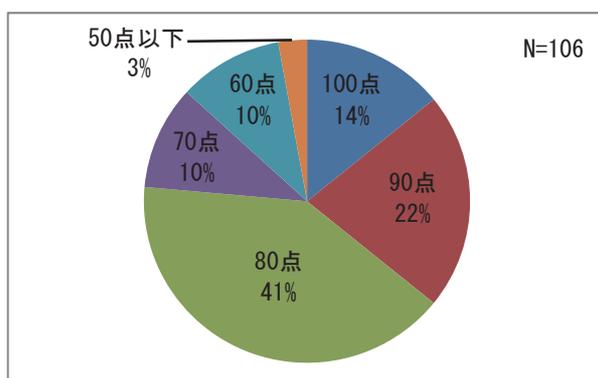


図 29：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の短大への満足度（単数回答）

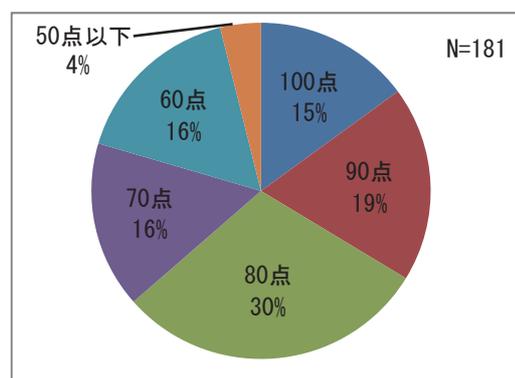


図 30：短大卒業直後の就職先から転職した人の短大への満足度（単数回答）

転職経験の有無を問わず、短大に対する卒業生の満足度はおおむね良好であると言える。

#### 【今後のキャリア支援について】

現在の就職支援の転換方向性が、卒業生の感じるニーズ等にも対応していることから、評価に値するものであることが分かった。今後、さらに改善できる点としては、1) 一年次からのキャリア支援への一層の注力、2) 日常的で最も相談する相手として保護者があげられることから、保護者と連携してのキャリア支援、3) 就職支援の幅を広げ、キャリア支援として相談体制の充実と、その体制の更なる活用法の、検討する、4) 「積極性」や「一般常識」「一般的な実務能力」を向上させることを意図したキャリア支援を行うといったことが考えられる。

## 卒業生アンケート調査票

平成22年 2月 吉日

卒業生の皆さまへ

鹿児島女子短期大学  
学長 辰 村 吉 康

卒業生アンケートについて（お願い）

拝啓 時下 卒業生の皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究に対しましては、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

本学では「高い教養と豊かな情操を培い、現代社会生活に即した、深い専門的知識と技術とを身につけた、心身ともに健康にして社会に役立つ実践的現代的女性を育成する」という教育方針のもと、地域に根ざした教育研究活動を展開しております。

この度、本学の「めざそう＜平成の篤姫＞！—鹿児島発社会人力養成プログラム—」が文部科学省の「学生支援推進プログラム」に採択されたのを受けて、卒業生の皆様にアンケート調査を実施することにいたしました。皆様からのご意見を基に、本学の学生支援体制の改善を図ることを目的としたものです。

お忙しいところご迷惑をおかけしますが、どうぞご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、本学は平成21年4月に紫原から高麗町へ移転いたしました。新校舎の写真入り葉書を同封いたしましたので、どうぞお使いください。これを機会に新キャンパスへも是非おこしくださいますよう、併せてご案内申し上げます。

敬具

## 鹿児島女子短期大学卒業生アンケート調査

- ・ 回答は、別紙【回答用紙】をお願いいたします。
- ・ 本調査は、在学・卒業生へのキャリア教育におけるデータの収集、及び本学からの書類等送付のために住所を最新情報へ更新することを目的としています。個人情報保護法にそって利用しますので、その他の目的に利用することは一切ありません。
- ・ 本調査は、平成 17 年度発行同窓会「すみれ会」名簿記載住所、卒業時の保護者住所に送付しています。
- ・ 設問は問 1～問 41 まであります。問 1 より順番にご回答ください。なお、設問の内容によっては、次の回答先を（→問〇へ）と指示しているものがありますので、その指示に従ってお進みください。
- ・ 回答の仕方には、選択肢の中から該当するものを選び、回答用紙に該当番号を記入していただくものと、具体的に回答内容を記述していただくものがあります。選択肢の場合は、設問の最後に選択する項目の数が（1つ）（2つまで）と示している場合があります。その指示に従ってご回答ください。
- ・ 回答に迷う場合には、最も近いものを選んでください。ただし、回答しづらいあるいは回答したくない設問については、空欄でも結構です。
- ・ ご記入済みのアンケート回答用紙は、**2010年3月5日（金）**までに、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れてご投函ください。（**回答用紙のみご返送ください。**）
- ・ 本調査に関するお問い合わせ等は、お手数ですが、下記までお願いいたします。

〒890-8565 鹿児島県鹿児島市高麗町 6-9 鹿児島女子短期大学 学生支援課  
(TEL 099-254-9194)

※以下の設問については、**選択肢番号あるいは回答内容の記述を、別紙【回答用紙】に記入してください。**

【Ⅰ】はじめに、あなた自身のことについて、お尋ねします。（差し支えない範囲でお答えください。）

(1) 卒業年度： (01)昭和 (02)平成 ( ) 年3月卒業

(2) 所属学科専攻：

- ・ 児童教育学科： (01) 初等教育学専攻 (02) 幼児教育学専攻
- ・ 生活科学科： (03) 生活科学専攻 (04) 生活福祉専攻 (05) 食物栄養学専攻  
(06) 生活科学専攻生活科学コース (07) 生活科学専攻養護課程(コース)
- ・ 家政学科： (08) 家政(食物)学専攻 (09) 家政(養護)学専攻 (10) 被服学専攻  
(11) 家政学専攻食物課程 (12) 家政学専攻養護課程
- ・ 教養学科： (13) 教養学科

(3) 卒業時の担任：

【Ⅱ】現在の仕事についてお尋ねします。

(4) あなたは現在、働いていますか。 (01)働いている (02)働いていない → (問(14)へ)

(5) 現在働いている企業・団体等の業種は何ですか。(1つ)

- (01) 農林水産業 (02) 鉱業 (03) 建設業 (04) 製造業 (05) 電気・ガス・熱供給・水道業
- (06) 情報通信業 (07) 運輸業 (08) 卸売・小売業 (09) 金融・保険業 (10) 不動産業
- (11) 飲食店、宿泊業 (12) 医療、福祉(病院、保健所、福祉事務所、老人福祉・介護事業、保育所など)
- (13) 教育、学習支援業(幼稚園・小学校・中学校・高等学校、大学、図書館、学習塾、英会話など)
- (14) サービス業(他に分類されないもの) (法律事務所、経営コンサルタント業、旅行業、広告業など)
- (15) 公務(他に分類されないもの) (国の行政機関・司法機関、地方公共団体の行政機関など)
- (16) 複合サービス事業(協同組合など) (17) その他 ( )

**(6) 現在の職種は何ですか。(1つ)**

- (01) 小学校教員 (02) 中学校教員 (03) 養護教員 (04) 栄養教員 (05) 司書・司書補 (06) 幼稚園教諭  
 (07) 保育士 (08) 栄養士 (09) 介護福祉士 (10) ホームヘルパー (11) 公務員  
 (12) 事務的職業(民間企業、教育関係の教務・事務補佐等) (13) 販売的職業(民間企業の営業・販売職等)  
 (14) 保安・サービスの職業(警察官、自衛官、美容師、グランドスタッフ等) (15) 営業職  
 (16) 農林漁業従事 (17) 製造業(工場、製品製造作業等)従事 (18) その他 ( )

**(7) 現在の勤務先は、卒業直後に就職したところですか。(01)はい → (問(10)へ) (02)いいえ****(8) 現在の勤務先は、何社目ですか。****(9) 現在の勤務先には、どのようにして就職しましたか。(1つ)**

- (01) 短大の先生の紹介 (02) 短大での友人・知人の紹介 (03) 短大以外での友人・知人の紹介  
 (04) 家族・親戚の紹介 (05) 現在の勤め先の人からの勧誘 (06) 前の勤め先からの紹介  
 (07) インターネット情報 (08) 企業から送られてきたガイド (09) 新聞などの求人広告・就職専門誌  
 (10) ハローワーク・民間の職業紹介機関 (11) 家業を継いだ(家業に入った) (12) 自分(たち)で起業した  
 (13) 公務員試験などを受験 (14) いずれでもない(具体的に: )

**(10) 現在の勤務形態は、何ですか。(1つ)**

- (正規社員) (01) 総合職 (02) 専門職 (03) 一般職 (04) 公務員  
 (非正規社員) (05) 派遣社員 (06) 契約社員 (07) パートタイム (08) アルバイト  
 (09) 自営 (10) その他 ( )

**(11) 現在の職位はどれにあてはまりますか。(1つ)**

- (01) 役職なし (02) 主任 (03) グループリーダー (04) 係長・係長補佐職  
 (05) 課長・課長補佐職 (06) 部長・部長補佐職 (07) その他 ( )

**(12) 現在の仕事の勤続年数を記入してください。****(13) 仕事の相談は誰にしますか。(2つまで)**

- (01) 上司 (02) 先輩 (03) 同期 (04) 後輩 (05) 会社以外の友人  
 (06) 家族 (07) 恩師 (08) 相談しない

**(14) 現在仕事に就いていない方、現在、主な活動は何ですか。(1つ)**

- (01) 求職活動中 (02) 育児・家事・介護を担当 (03) 学業(大学、その他) (04) その他 ( )

**【Ⅲ】「働くこと」についてお尋ねします。****(15) 働く理由について、差し支えない範囲でお答えください。(3つまで)**

- (01) 自分自身の収入が欲しいから (02) 家計の維持や補助に必要なだから  
 (03) 社会とのつながりを持ちたいから (04) 仕事につくことは当然だと思うから  
 (05) 仕事をするのが好きだから (06) 知識、技術、趣味を活かしたいから  
 (07) 経済的に自立したいから (08) 家業だから (09) 仕事を通じて友人を得たいから  
 (10) 育児が一段落したから (11) 家族の介護や看病の必要がなくなったから  
 (12) 他にすることがないから (13) その他 ( )

**(16) 働き方について、あなた自身はどう考えていますか。(1つ)**

- (01) 結婚するまでは仕事を続ける (02) 子供ができるまでは仕事を続ける  
 (03) 子供ができたら仕事を辞めるが、将来再就職をする  
 (04) 結婚・出産にかかわらずずっと仕事を続ける (05) できれば仕事をしたくない  
 (06) その他 ( )

**(17) 会社選びのポイントは何が重要だと思いますか。(3つまで)**

- (01) やりたい仕事 (02) 短大の専門・専攻を活かせる (03) 自分の能力を活かせる  
 (04) 希望のコース(総合職など) (05) やりがいがある (06) 国際的な仕事である (07) 男女差がない  
 (08) 長く働ける (09) 給与・昇給が良い (10) 休日日数・勤務時間などの労働条件が良い  
 (11) 安定した企業 (12) 将来性のある企業・業種 (13) 女性を活用する社風 (14) 社会的貢献度が高い  
 (15) 仕事のための施設・設備が良い (16) 通勤の便が良い (17) 住宅手当・寮などの条件が良い  
 (18) 福利厚生が充実している (19) 有名で大手企業 (20) オフィスが市の中心にある  
 (21) 母性保護の制度が充実している (22) OGが多い (23) OGの印象が良い (24) 縁故  
 (25) 親の勧め (26) 就職課(学生支援課)の勧め (27) 先生の推薦  
 (28) 結婚に有利/相手が見つかりそう (29) なんとなく (30) その他 ( )

**【IV】 短大卒業時の就職先についてお尋ねします。****(18) どのようにして就職しましたか。(1つ)**

- (01) 短大の先生の紹介 (02) 短大での友人・知人の紹介 (03) 短大以外での友人・知人の紹介  
 (04) 家族・親戚の紹介 (05) 企業からの勧誘(リクルート) (06) 短大にある求人票・会社案内  
 (07) インターネット情報 (08) 企業から送られてきたガイド (09) 新聞などの求人広告・求人情報誌  
 (10) ハローワーク・民間の職業紹介関係 (11) 家業を継いだ(家業に入った) (12) 自分(たち)で起業した  
 (13) 公務員試験などを受験 (14) いずれでもない(具体的に: )  
 (15) 卒業時、仕事に就けなかった → (問26)へ

**(19) 勤務先の業種は何でしたか。(1つ)**

- (01) 農林水産業 (02) 鉱業 (03) 建設業 (04) 製造業 (05) 電気・ガス・熱供給・水道業  
 (06) 情報通信業 (07) 運輸業 (08) 卸売・小売業 (09) 金融・保険業 (10) 不動産業  
 (11) 飲食店、宿泊業 (12) 医療、福祉(病院、保健所、福祉事務所、老人福祉・介護事業、保育所など)  
 (13) 教育、学習支援業(幼稚園・小学校・中学校・高等学校、大学、図書館、学習塾、英会話など)  
 (14) サービス業(他に分類されないもの)(法律事務所、経営コンサルタント業、旅行業、広告業など)  
 (15) 公務(他に分類されないもの)(国の行政機関・司法機関、地方公共団体の行政機関など)  
 (16) 複合サービス事業(協同組合など) (17) その他 ( )

**(20) 職種は何でしたか。(1つ)**

- (01) 小学校教員 (02) 中学校教員 (03) 養護教員 (04) 栄養教員 (05) 司書・司書補 (06) 幼稚園教諭  
 (07) 保育士 (08) 栄養士 (09) 介護福祉士 (10) ホームヘルパー (11) 公務員  
 (12) 事務的職業(民間企業、教育関係の教務・事務補佐等) (13) 販売的職業(民間企業の営業・販売職等)  
 (14) 保安・サービスの職業(警察官、自衛官、美容師、グランドスタッフ等) (15) 営業職  
 (16) 農林漁業従事 (17) 製造業(工場、製品製造作業等)従事 (18) その他 ( )

**(21) 最初の就職先に現在も勤務していますか。(現在の仕事は、卒業時に就いた会社・団体・組織と同じですか。 出向や転勤などで異動している場合は同じとしてください。)**

- (01) 勤務している → (問27)へ (02) 勤務していない

**(22) 卒業直後に就いた最初の仕事を辞めたのはいつですか。(1つ)**

- (01) 1年目 (02) 2年目 (03) 3年目 (04) 4年目以降 ( )年目

**(23) 卒業時に就職した会社を辞めた理由を差し支えない範囲でお答えください。(3つまで)**

- (01) 仕事内容が予想と違った (02) 会社の業務内容が予想と違った (03) 適性に疑問を持った  
 (04) 労働時間での不満 (05) 収入面での不満 (06) 職場の人間関係 (07) 結婚のため  
 (08) 出産・育児のため (09) 家族のため(配偶者の転勤、介護など) (10) 家族の反対  
 (11) キャリアを積むのに限界があった (12) 期限付きの採用であった (13) 人員整理・倒産  
 (14) 転勤のない職場で働きたい (15) 会社の成長力・将来性 (16) 実力主義・能力主義の会社で働きたい  
 (17) 専門性やスキルを高めたい (18) 勉学等キャリアステップアップのため (19) その他 ( )

**(24) 最初の就職後、自分に不足していたと感じた能力がありますか。(3つまで)**

- (01) 企画力・創造力 (02) 問題解決力・分析力 (03) 判断力 (04) データ処理力・事務処理力  
 (05) ストレスコントロール力 (06) リーダーシップ (07) 協調性 (08) 幅広い教養 (09) 英語力  
 (10) プレゼンテーション力 (11) 特にない (12) その他 ( )

**(25) その仕事を辞めた後、どうしましたか。(1つ)**

- (01) 再就職してフルタイムで働いた  
 (02) 再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた  
 (03) 家業の手伝いをした (04) 再就職先を探したが見つからなかった (05) その他 ( )

**(26) [問(18)で「15. 仕事に就けなかった」と答えた方]****短大卒業直後に収入を伴う仕事につけなかった理由は何ですか。(1つ)**

- (01) 結婚をしたから (02) 家事手伝いや稽古事をしたから  
 (03) ボランティア、NPO・NGOなどの社会活動をしたから  
 (04) 進学・就職の準備期間としたかったから (05) 希望の仕事につけなかったから  
 (06) 就職する意志がなかったから (07) 自分の時間を持ちたかったから (08) その他 ( )

**【V】在学時の就職活動について、お尋ねします。****(27) 志望就職先を決定するに当たって最も重視したことは何ですか。(1つ)**

- (01) 短大での専門分野との関連 (02) 業種 (03) 職種 (04) 地域条件(勤務地・転勤の有無など)  
 (05) 規模 (06) 知名度やイメージ (07) 経営方針 (08) 安定性 (09) 将来性  
 (10) 仕事のやりがい度 (11) 勤務時間・給与・福利厚生等 (12) 正社員就職  
 (13) 社会・公共への貢献度 (14) その他 ( )

**(28) 就職活動時に参考にした情報源は何ですか。(3つまで)**

- (01) 短大の就職情報資料 (02) 就職情報誌 (03) 新聞 (04) 就職情報サイト(リクナビ等)  
 (05) インターネット情報 (06) 就職指導教職員の助言 (07) 先輩の助言  
 (08) 会社案内のダイレクトメール (09) 就職活動をしなかった (10) その他 ( )

**(29) 短大の就職活動への支援は十分でしたか。(1つ)**

- (01) 十分だった (02) 不足していたが、就職活動には問題はなかった  
 (03) 不十分で、就職活動に苦労した (04) 支援は必要なかったし、求めなかった

**(30) 大学で行った就職支援の中で重要と感じたものは何ですか。(3つまで)**

- (01) 就職ガイダンス (02) 個人指導 (03) 講座・講習会・模試の実施 (04) 模擬面接  
 (05) 求人情報の提供 (06) 1年時からのキャリア(就職支援)教育 (07) 就職指導を受けなかった  
 (08) その他 ( )

**(31) 就職活動の悩みなどを友達、担任、学生支援課(旧就職課)等に相談しましたか。(1つ)**

- (01) かなり相談した (02) 相談した (03) あまり相談しなかった (04) 全く相談しなかった

**(32) 一番相談した相手は誰ですか。(1つ)**

- (01) 担任 (02) 就職担当教員 (03) その他の教員 (04) 就職支援課長・課員 (05) 友人  
 (06) 先輩 (07) 家族 (08) その他 ( )

**(33) 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたものは何ですか。(3つまで)**

- (01) 一般知識 (02) 専門知識・技術 (03) 取得資格 (04) コミュニケーション能力  
 (05) 積極性・行動力 (06) 就職への意欲 (07) 就職情報量 (08) 英語力 (09) 数学力  
 (10) パソコン操作 (11) 社会人としてのマナー (12) 特にない (13) その他 ( )

## 【VI】「短大の教育」等についてお尋ねします。

(34) 短大での生活の満足度は100点満点中どのくらいでしたか。(1つ)

- (01)100点 (02)90点 (03)80点 (04)70点 (05)60点 (06)50点以下

(35) 短大時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか。(1つ)

- (01)大いに関連がある (02)やや関連がある (03)あまり関連がない (04)全く関連がない

(36) 仕事や日常生活の中で、短大で学んだことや経験が役立っていると感じることはありますか。(1つ)

- (01)十分役にたっている (02)ある程度役に立っている (03)どちらともいえない
- 
- (04)あまり役に立っていない (05)まったく役に立っていない

(37) 短大においてもっと身につけておくべきであると思うものについて番号を記入してください。

(上位3つまで)

- (01)短大で学んだ学問分野や専門領域に関する知識 (02)その他の学問分野や専門領域に関する知識
- 
- (03)分析力に考察する力 (04)新たな知識を素早く身につける力 (05)交渉力
- 
- (06)プレッシャーの中で力を発揮すること (07)新たなチャンスに機敏に対応する力
- 
- (08)複数の活動を調整する能力 (09)時間を有効に使う力 (10)他の人と効率よく仕事をする力
- 
- (11)他の人の知識や能力を結集する力 (12)他の人に意図を明確に伝える力 (13)リーダーシップ
- 
- (14)コンピュータやインターネットを活用する力 (15)新たなアイデアや解決策を見つけ出す姿勢
- 
- (16)問題点を発見する力 (17)自身や他の人の考えを常に問い直す姿勢 (18)プレゼンテーション能力
- 
- (19)記録、資料、報告書等を作成する力 (20)外国語で書いたり話したりする力
- 
- (21)その他 ( )

(38) 学生時代にやっておけばよかったと思うこと、卒業後、社会に出てから必要を感じて勉強したことがあれば挙げてください。

(39) 短大時代に受けた教育や大学・学生支援センター(旧就職課)についてのご感想・ご意見・ご要望がありましたら自由にお書き下さい。

(40) これから社会に出る後輩に、メッセージをお願いします。

(41) 短大の学生支援に関して、協力していただける事項を挙げてください。(いくつでも)

- (01)短大での就職ガイダンス・卒業生へのメッセージとして後輩への講話
- 
- (02)会社訪問(OG訪問)を希望する学生からの電話連絡
- 
- (03)会社訪問(OG訪問)を希望する学生からのメール連絡
- 
- (04)就職活動に対する学生からの電話相談
- 
- (05)就職活動に対する学生からのメール相談
- 
- (06)会社概要・採用情報の学生からの資料請求
- 
- (07)その他協力いただけることを具体的にお書きください。

お忙しいところ、ご協力いただき、ありがとうございました。皆様の貴重なご意見は、よりよい大学づくりのための参考資料として活用させていただきます。今後とも、本学をよろしくご支援いただきますようお願い申し上げます。卒業生の皆さまの益々のご活躍とご多幸をお祈りいたします。